



一般の部 「笑顔も豊作」 黒沼 末八 (山形市)



学生の部 「おい、何見てんだよ」 高橋 和社 (県立天江工業高等学校2年)

第26回 やまがた 農村フォトコンテスト

【募集テーマ】

やまがたの農村をテーマに、あなたが伝えたい山形の農村の四季、風景、働く喜びなど、幅広く農村生活をとらえたもの
(田園の風景、農作業の風景、伝統文化(祭り)、除水、地域保全活動等)



■主催 **水と里 ネット やまがた** (山形県土地改良事業団体連合会)

■協賛 (株)メコム/富士ゼロックス(株)山形営業所/(有)たかしま保険サービス(株)ユアシス/(株)山形測器社/山交観光(株)

■後援 山形県/山形県多面的機能支払推進協議会/山形県写真連盟/山形新聞・山形放送



過去の入賞作品を紹介しています。 www.sanae.or.jp

第26回 やまがた 農村フォトコンテスト

応募要項

- 部 門：①一般の部 ②学生の部(高校生以下高専含む)
- 応募作品：平成28年4月以降、山形県内を撮影したもの。(組写真の場合は不可) 未発表のもので、同一作品及び類似作品が他のコンテスト等に応募されていない自作品に限る。デジタルカメラによる応募も可とする。
- サイズ：①一般の部 カラープリントの四つ切りサイズ(254×305ミリ) ※四つ切りワイドサイズは不可とするが、ワイド撮影を四つ切りサイズにプリントしたものは可とする。 ②学生の部 カラーまたはモノクロプリントの2L判サイズ(127×178ミリ)
- 応募方法：写真1枚ごとに、題名、氏名、年齢、職業または学校名、連絡先、撮影場所、撮影年月を記入した応募票を添付のこと。(応募票はホームページからダウンロードできます。)
- 作品返却：返却しない。入賞者は、入賞通知後に、ネガ、ポジフィルム、画像データ等の提出義務あり。
- 著作権：入賞作品の著作権は主催者に無償で譲渡し、入賞作品、タイトル、氏名の公表は主催者に一任する。応募作品に肖像権等を有する被写体がある場合は、応募者本人が公表の承諾を得た上で応募すること。
- 応募開始：平成30年6月上旬
- 応募締め切り：平成30年9月7日(金)必着
- 応募案内：山形新聞紙面に募集案内を掲載(5月27日(日)朝刊予定) 募集案内チラシを県内全域に配布(10,000枚程度)
- 審査：平成30年9月下旬に、主催者が委嘱する審査員(山形県写真連盟会長等)が選考にあたる。
- 入賞発表：審査終了後、入賞者に直接通知するほか、山形新聞、ホームページ等で発表する。
- 賞の取り消し：入賞決定後であっても、応募規定に違反があったとき、または、類似・二重応募と主催者が判断した場合には、入賞を取り消すものとする。
- 入賞作品の活用方法：ホームページで公表するほか、各種イベント等での展示、広報資料として広く活用する。
- 入賞作品展：平成30年11月上旬から県内8箇所(公共施設・郵便局・スーパーマーケット等)で開催する。
- 応募先：水と里ネットやまがた(山形県土地改良事業団体連合会) 〒990-2473 山形市松栄1-7-48 Tel 023-647-5371 Fax 023-647-5391 総務部 地域支援課 担当者:豊島/川井/渡邊/東海林

各賞 ※賞及び副賞については、変更となる場合があります。

一般の部		
最優秀賞	1点	表彰状、50,000円相当の賞品
優秀賞	2点	表彰状、20,000円相当の賞品
特選	数点	表彰状、10,000円相当の賞品
入選	数点	表彰状、5,000円相当の賞品
水と里ネット やまがた会長賞	全作品より1点	表彰状、20,000円相当の賞品 又は図書カード

学生の部		
最優秀賞	1点	表彰状、10,000円相当の図書カード
優秀賞	2点	表彰状、7,000円相当の図書カード
特選	数点	表彰状、5,000円相当の図書カード
入選	数点	表彰状、3,000円相当の図書カード
山形新聞社賞	全作品より1点	表彰状、20,000円相当の賞品 又は図書カード

ふるさとを
探そう

あなたが伝えたい
山形の
水と里

応募締め切り
9月7日(金)
必着

※応募者には参加賞を差し上げます。

■主催 **水と里 ネット やまがた** (山形県土地改良事業団体連合会)

■協賛 (株)メコム/富士ゼロックス(株)山形営業所/(有)たかしま保険サービス/(株)ユアシス/(株)山形測器社/山交観光(株)

■後援 山形県/山形県多面的機能支払推進協議会/山形県写真連盟/山形新聞・山形放送



読者プレゼント

「尾花沢すいかづくし詰め合わせ」を5名様にプレゼント。
ご希望の方は、下のアンケートに記入してお送りください。
(官製はがき可)

アンケートは山形県ホームページからも印刷できます。

※当選者の発表は、発送をもって発表に代えさせていただきます。
※ご応募によって得られたアンケートの情報は、個人情報を含まない形で誌面への公表等に使用させていただく場合があります。

尾花沢産のすいかをいろんな食べ方で楽しめる

尾花沢すいかづくし詰め合わせ

- ・尾花沢すいかカレー
- ・尾花沢スイカサイダー
- ・尾花沢すいかのピリ辛漬け



写真はイメージです。プレゼントと写真の内容とは異なる場合がありますので、ご了承ください。

norariは、山形県ホームページからもご覧いただけます。
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/140017/norari.html>

地域活動情報をお寄せください。

62円切手を
お貼り下さい

〒990-8570
山形市松波2-8-1
山形県 農林水産部 農村計画課
norari 事務局 行

お名前

ご住所 〒

お電話番号

読者プレゼント希望欄

プレゼント希望の場合は、「レ」を付けてください。
応募締切は、2018年10月31日までです。

アンケートにご協力ください

Q1 本誌の内容はいかがですか？

おもしろい 普通 つまらない

Q2 皆さんの活動や産品で本誌に掲載してみたいものがありましたらご記入ください。

Q3 本誌に関するご意見をご記入ください。

Norari

のらり親父のつぶやき



『年寄り？ ～病院で～』

還暦を迎えたが、今の60歳はまだ若いわれ、私も当然そう思っているのだが・・・

① ため口

ちょっと前までは、年上の看護師でも私に対して敬語で話していた。しかし、いつからか、どう見ても私より若い看護師がため口で話すようになった。しかも大きな声で。「ここ、痛いのが～？」

② イナビル

インフルエンザになった。近頃はタミフルに代わって、口にくわえて吸い込む「イナビル」という薬が主流らしい。私も「イナビル」を渡され、看護師が使用方法を説明する。言われたとおりやる。「ここをくわえて、『スーッーッ』と大きく吸い込んでください。」何も難しいことではない。ただ吸い込むだけだ。思い切り吸い込むと看護師は言った。「上手！上手です～！」

褒められたが嬉しくない。『馬鹿にするな・・・』

秋号は10月上旬発行予定！

発行 norari 編集委員会
〒990-8570 山形市松波 2-8-1
山形県 農林水産部 農村計画課
「norari 事務局」Tel 023-630-3077
協力 山形県農村振興技術連盟